

テキストの特色

- このテキストは、5年生の2学期までに学習したことがらをしっかりと復習し、学力をきちんと身につけることを目標としています。
- 全部で8講座^{こうぎ}からなり、各講座3ページ(「5. 暮らしを支える自動車」は2ページ)にまとめてあります。
- 各講座の最初にある「要点の整理」で覚えるべきことがらや重要なポイントを確かめていき、「要点チェック」、「練習問題」を解くことで、学力の定着をはかります。



も く じ

①	日本の国土・気候の特色と人々の暮らし…	2
②	わたしたちの食生活と米づくり ……	5
③	わたしたちの食生活と水産業 ……	8
④	これからの食料生活 ……	11
⑤	暮らしを支える自動車工業 ……	14
⑥	日本の工業生産の特色 ……	16
⑦	運輸と貿易 ……	19
⑧	情報産業と情報化社会 ……	22



1

日本の国土・気候の特色と人々の暮らし

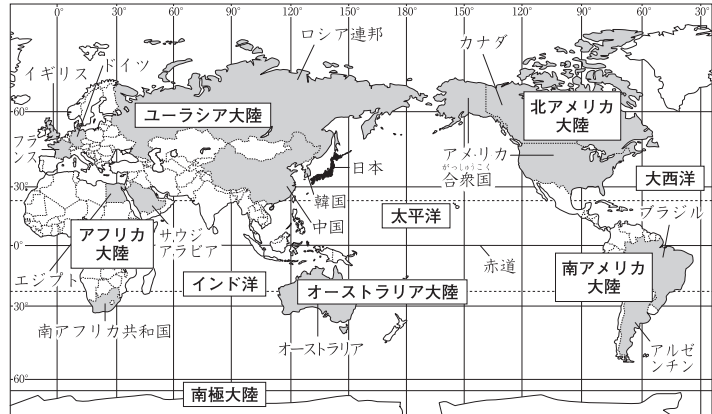
学習内容

- 世界の中の日本の位置
- 日本の領土と地形
- 日本の気候

❖ 要点の整理

1 世界の中の日本の位置

世界の中の日本…世界には、ユーラシア大陸（アジア大陸とヨーロッパ大陸を合わせたよび方）・アフリカ大陸・北アメリカ大陸・南アメリカ大陸・オーストラリア大陸・南極大陸の六大陸があり、日本はユーラシア大陸の東のはしに位置している。



2 日本の領土

- (1) 日本の領土…日本は北緯約 20 ~ 46 度、東経約 123 ~ 154 度に位置している。
- 北のはし：択捉島（北海道）
 - 南のはし：沖ノ鳥島（東京都）
 - 東のはし：南鳥島（東京都）
 - 西のはし：与那国島（沖縄県）

日本のまわりの国々と海



- (2) 日本のまわりの海…日本は、太平洋・日本海・東シナ海・オホーツク海に囲まれた島国である。
- (3) 日本の国土と面積…北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島と、約 7000 の小さな島々からなっており、北東から南西に約 3000km、弓のようにのびている。国土面積は約 38 万km²である。

3 日本の気候

- (1) 温帯の気候…温帯にぞくする日本の気候はおだやかで、季節がはっきりしている。また、国土が南北に長いため、地いきによって同時期の気温の差が大きく、四季のおとずれがことなる（北海道は冷帯（亜寒帯）にぞくする）。
- (2) 季節風…季節によって、決まった方向からふく風のこと。夏には、太平洋から南東の季節風がふき、冬には、ユーラシア大陸から北西の季節風がふく。
- (3) 梅雨（ばいう・つゆ）…6月から7月にかけてつづく長い雨の時期を梅雨という。ふった雨は、日本の農業（特に稲作）にとって大切な水となる。
- (4) 台風…南の太平洋上で発生した熱帯低気圧を台風といい、夏から秋にかけて日本をおそう。はげしい雨や風をとまなうので、こう水や土砂くずれなど、大きなひ害が出ることが多い。



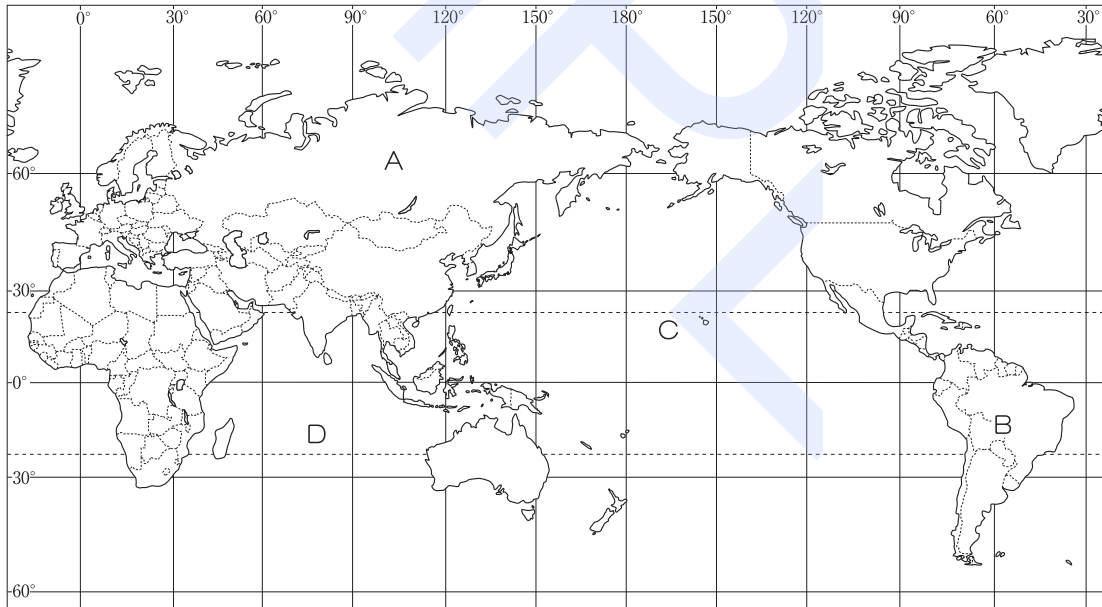
❖ 要点チェック 次の問題に答えなさい。

- ① 日本は何大陸の東のはしにありますか。
- ② 日本を囲んでいるのは、太平洋・日本海・オホーツク海と、あと一つは何海ですか。
- ③ 日本の国土面積は約何万km²ですか
- ④ ロシア連邦に占拠されている、北海道の択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島を何といいますか。
- ⑤ まわりを山で囲まれた平地を何といいますか。
- ⑥ 山地から平地に出るところに、川が運んできた土や砂がおうぎ形に積もってできる地形を何といいますか。
- ⑦ 水産資源の豊富な、深さが200メートルくらいまでの浅い海底を何といいますか。
- ⑧ 6月から7月にかけて、長雨がふることを何といいますか。
- ⑨ 日本の大部分は、何という気候帯にぞくしていますか。
- ⑩ 夏から秋にかけて発生する、はげしい雨と風をともなった熱帯低気圧のことを何といいますか。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

練習問題

1 〈日本の位置と国土〉 次の地図を見て、あとの問題に答えなさい。



- (1) 地図中のA、Bの大陸の名前を答えなさい。
A () B ()
- (2) 地図中のC、Dの海洋の名前を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ア 大西洋 イ 太平洋 ウ インド洋 C () D ()

4 日本の国土・気候の特色と人々の暮らし

2 〈日本の地形〉 右の地図を見て、次の問題に答えなさい。

(1) 地図中の①、②は盆地の位置をしめしています。盆地の名前をそれぞれ答えなさい。

① () ② ()

(2) 次の文にあう山地・山脈を、地図中のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

① 中国地方を東西に通る山地で、なだらかな山々が連なっている。 ()

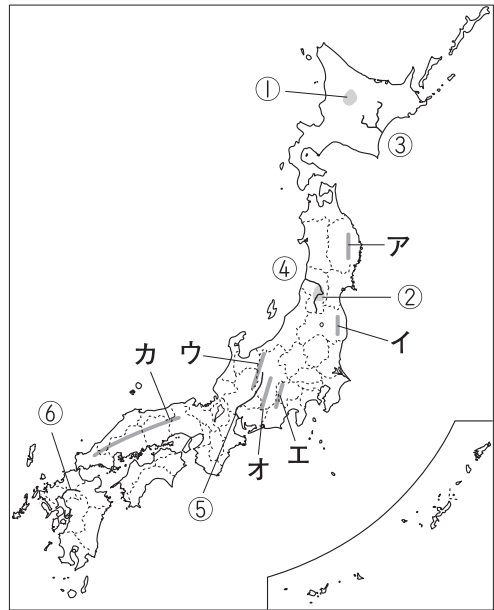
② 日本の屋根といわれる3つの山脈。 () () ()

③ 東北地方の太平洋側にある2つの高地。 () ()

(3) 地図中の③～⑥の川の名前をそれぞれ答えなさい。

③ () ④ ()

⑤ () ⑥ ()



3 〈日本の気候〉 右の地図を見て、次の問題に答えなさい。

(1) 次の①～⑤の文にあう気候を、地図中のア～カの地いきからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

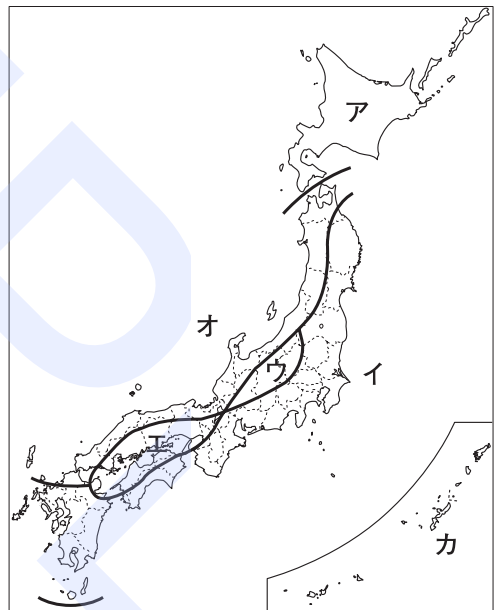
① 1年を通じて雨が少なく、比較的温暖である。 ()

② 夏には太平洋側からしめった風がふく。冬には日本海側からかわいた風がふき、晴天の日が多くなる。 ()

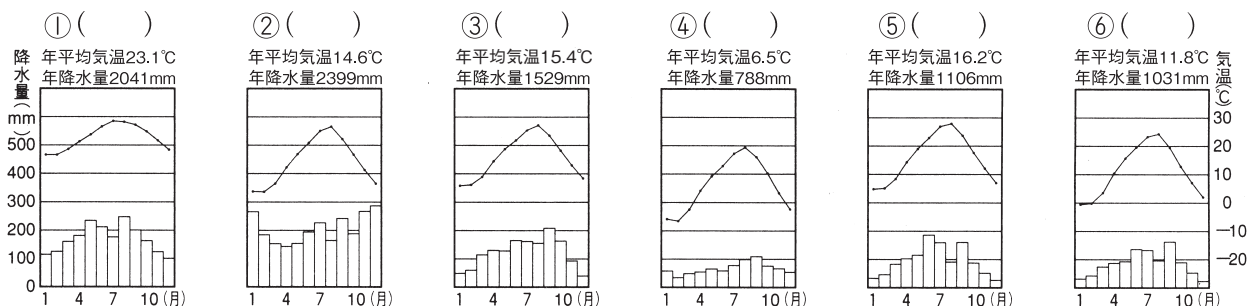
③ 1年中気温が高く、降水量が多い。 ()

④ 雪により、冬の降水量が夏より多くなる。 ()

⑤ 1年を通して降水量が少なく、あまり気温が上がらない。特に冬の寒さがきびしい。 ()



(2) 次のグラフにあう気候の地いきを、地図中のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。



(2019年版「理科年表」より)

2

わたしたちの食生活と米づくり

学習内容

- 米づくりのさかんな地いき
- 米づくりの工夫・米の流通

要点の整理

1 日本の農業の中心をしめる米づくり

米づくりは日本の農業の中心となっており、日本の耕地面積の約半分が田である。また、農業全体の産出額でも、米は大きな割合をしめている。

2 米づくりのさかんな地いき

米づくりは、広い平野や大きな川のあるところでさかんに行われている。

(1) 北海道

- ① 北海道の米づくり…気温が低く水はけの悪い土地が多い北海道では、明治時代以降の土地の改良（客土）や米の品種改良が行われ、現在では全国で1、2位を争う生産量をあげるまでになった。

- ② 稲作のさかんな地いき…石狩平野・上川盆地

(2) 東北地方

- ① 日本の米ぐら（穀倉地帯）…

全国で生産される米の約4分の1が、東北地方で生産されている。

- ② 米の単作地帯

…北海道や東北地方では、冬の寒さがきびしかったり雪が多かったりするため、冬の間はあまり作物をつくることができない。そのため、米の単作（同じ土地で1年に1種類だけの作物をつくること）が行われている。

- ③ 稲作のさかんな地いき…秋田平野・仙台平野・庄内平野

- ④ 米づくりのなやみ…東北地方や北海道では、夏の気温が十分に上がらないため、農作物が育たなくなる冷害のひ害を受けやすい。

3 米づくりの努力

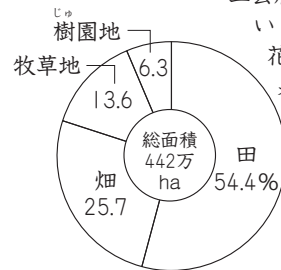
耕地の拡大

- (1) 干拓…海や湖などに堤防をつくって水をくみ上げて干し、土地をつくる。八郎潟（秋田県）や有明海（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）の干拓が有名である。

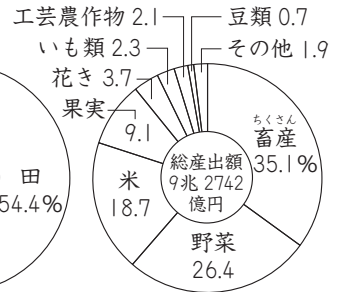
- (2) 開こん…山地や荒地を切り開いて田畑にする。

- (3) たな田…山のしゃ面を階段状にととのえてつくられた水田である。

耕地面積

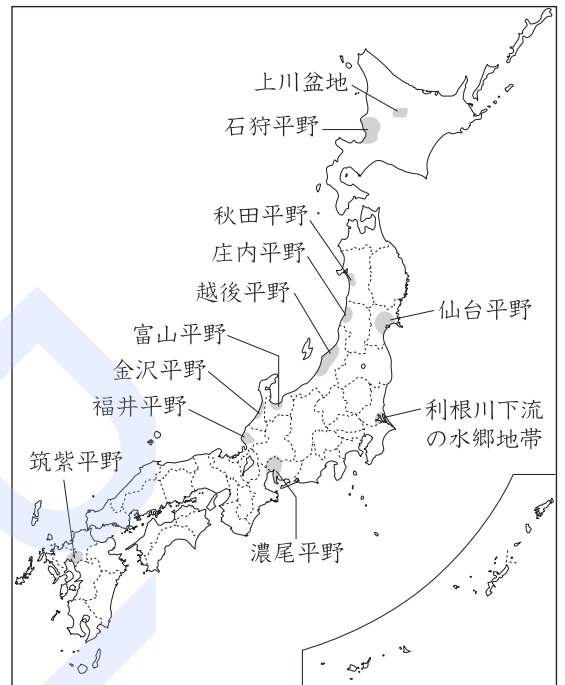


農産物の生産額

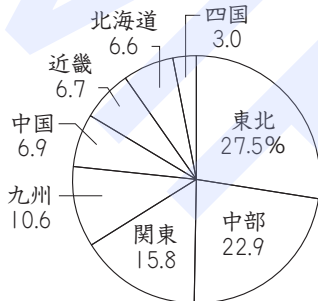


(2019年版「日本のすがた」ほかより)

米づくりのさかんな地いき



地方別の米の生産量割合



(2019/20年版「日本国勢図会」より)

6 わたしたちの食生活と米づくり

❖ 要点チェック 次の問題に答えなさい。

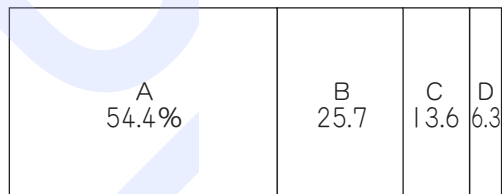
- ① わが国の、畑・田・牧草地・果樹園のうち、最も耕地面積が広いのはどの耕地ですか。
- ② わが国でつくられている穀物のうち、最も多く生産されているものは何ですか。
- ③ 東北地方や北海道の太平洋側でよくおこる冷害をもたらす、千島海流の上空をふく冷たい北東風を何といいますか。
- ④ 香川県の讃岐平野では、干害にそなえて何がたくさんつくられていましたか。
- ⑤ 海や湖などに堤防をつくって水をくみあげて干し、土地を作ることを何といいますか。
- ⑥ 土地の性質や気候に合わせてたり、味をよくしたりするために、新しい品種をつくり出すことを何といいますか。
- ⑦ 日本の米ぐら（穀倉地帯）とよばれ、1年間の生産量が最も多い地方はどこですか。
- ⑧ 北海道で稲作がさかんな平野はどこですか。
- ⑨ 日本の米の消費量は、年々ふえていますか、それともへっていますか。
- ⑩ 米の作付面積をへらして生産量をおさえる国の政策を何といいますか。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

練習問題

1 〈日本の米づくり〉 次の問題に答えなさい。

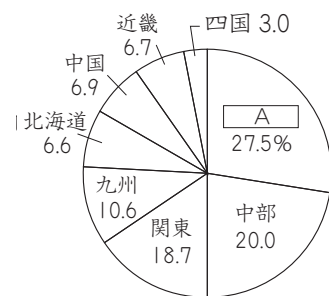
- (1) 右のグラフは、日本の耕地面積について、畑・牧草地・田・樹園地の割合をA～Dとしてしめたものです。田にあてはまるものをA～Dから選び、記号で答えなさい。 ()
- (2) 日本で稲作がさかんになった理由を次から2つ選び、記号で答えなさい。 () ()
 - ア 日本は春から秋にかけて高温・多湿となり、米づくりに適しているから。
 - イ 日本には畑にむいた土地が少なく、水田しかつくれなかったから。
 - ウ 日本は1年中温度が高いので、米以外の作物がづくりにくいから。
 - エ 日本の政府が、国民の主食として米づくりを保護してきたから。



(2019/20年版「日本国勢図会」より)

2 〈米づくりのさかんな地いき〉 日本各地の米づくりについて、次の問題に答えなさい。

- (1) 右のグラフは、米の地方別生産量を表したグラフです。グラフのAにあてはまる地方を答えなさい。 ()
- (2) 冷害を受けやすい地方はどこですか。2つ答えなさい。 () ()



(2019/20年版「日本国勢図会」より)

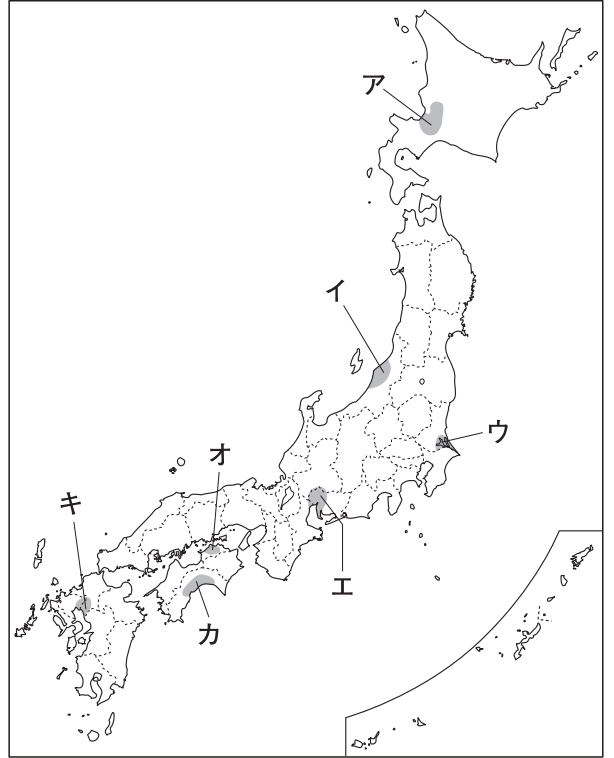
(3) 次の①～⑤にあてはまる地いきを、右の地図の **ア～キ** からそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、その地いきの名前をあとの□からそれぞれ選び、答えなさい。

① かつて、クリークとよばれる水路がはりめぐらされていたが、現在は区画整理が進んでいる。
記号 () 地いき ()

② 明治時代になるまで、ほとんど米づくりが行われていなかった。しかし、その後の農業技術の進歩や土地改良によって、米づくりができるようになり、現在では全国有数の米の生産地となっている。
記号 () 地いき ()

③ 冬でもわりあいあたたかいため、米の二期作が行われてきたが、今ではほとんど見られなくなった。
記号 () 地いき ()

④ 日本海に面した地いきで、冬は雪が多くあまり農作業に向かないため、春から秋にかけての米づくりに力をいれている。コシヒカリの代表的な生産地である。



記号 () 地いき ()

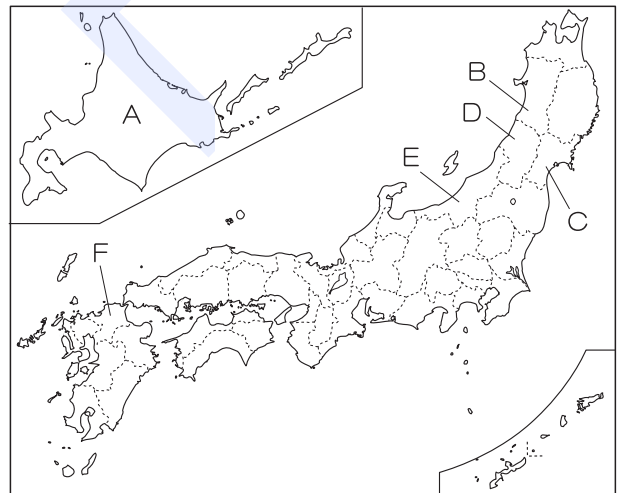
⑤ ^{すいごう}水郷地帯では、台風のひ害をさけるため、通常より早い時期に^{しゅうかく}収穫される米が^{さいばい}栽培されている。
記号 () 地いき ()

高知平野	^{のうび} 濃尾平野	関東平野	^{せんだい} 仙台平野	^{いしかり} 石狩平野
^{えちご} 越後平野	^{つくし} 筑紫平野	^{さぬき} 讃岐平野	利根川の下流地帯	

3 〈つくられる米の種類〉 右の地図中の A～F の都道府県で多く生産されている米の品種を、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A () B () C ()
D () E () F ()

- | | |
|----------|---------|
| ア ヒノヒカリ | イ はえぬき |
| ウ ななつぼし | エ コシヒカリ |
| オ あきたこまち | カ ひとめぼれ |



解答

《W小5社会》

1

日本の国土・気候の特色と人々の暮らし 2~4ページ

❖ 要点チェック

- ①ユーラシア大陸 ②東シナ海 ③38万km²
④北方領土 ⑤盆地 ⑥扇状地 ⑦大陸だな
⑧梅雨(ばいう・つゆ) ⑨温帯 ⑩台風

練習問題

- 1 (1)A ユーラシア大陸 B 南アメリカ大陸
(2)Cイ Dウ

解説 (1)日本は太平洋の北西にあり、ユーラシア大陸の東に位置する。

- 2 (1)①上川盆地 ②山形盆地 (2)①カ ②ウ、エ、オ ③ア、イ (3)③十勝川 ④最上川 ⑤木曾川 ⑥筑後川

解説 (1)まわりを山に囲まれた平地のことを盆地という。盆地には、川が山地から平地に出るところに土や砂がおうぎ形に積もってできる扇状地がよく見られる。甲府盆地には扇状地が多く見られる。(2)ウ飛騨山脈、オ木曾山脈、エ赤石山脈の3つの山脈は、日本の屋根(日本アルプス)ともいわれ、3000メートル級の山々が連なっている。また、日本は世界の中でも火山の多い国であり、浅間山(長野県・群馬県)、桜島(鹿児島県)などの活火山(現在でも活動がつづいている火山)も多い。(3)③~⑥の川につながりのある平野は、③十勝川→十勝平野、④最上川→庄内平野、⑤木曾川→濃尾平野、⑥筑後川→筑紫平野である。日本で最も長い川は信濃川、最も流域面積が広い川は利根川である。また、最上川・富士川・球磨川は、特に流れの急な川で、日本三大急流といわれる。

- 3 (1)①エ ②イ ③カ ④オ ⑤ア (2)①

カ ②オ ③イ ④ア ⑤エ ⑥ウ

解説 (1)①瀬戸内の気候②太平洋側の気候③南西諸島の気候④日本海側の気候⑤北海道の気候 (2)①年平均気温が高いことから南西諸島の気候と分かる。1年中気温が高い亜熱帯性の気候(平均気温が20℃以上)である。②冬の降水(雪)量が多いことから日本海側の気候。④年平均気温が低いことから北海道の気候。また、③、⑤、⑥で、年平均気温の低い⑥が中央高地の気候。残る③と⑤で、降水量の多い③が太平洋側の気候で、⑤は瀬戸内の気候となる。瀬戸内の気候は、季節風が中国山地と四国山地にさえぎられるので、1年を通じて雨が少なく、比かく的温暖である。

2

わたしたちの食生活と米づくり 5~7ページ

❖ 要点チェック

- ①田 ②米 ③やませ ④ため池 ⑤干拓 ⑥品種改良 ⑦東北地方 ⑧石狩平野 ⑨へって
いる ⑩生産調整(減反政策)

練習問題

- 1 (1)A (2)ア、エ

解説 (1)Aは田、Bは畑、Cは牧草地、Dは樹園地。農業全体の産出額でも、米は大きな割合をしめている。(2)田植えをする時期が梅雨(つゆ)となり、稲に必要な水が十分えられること、また、稲の花が開く夏には気温や湿度が高いことなどから、日本の気候は稲の生育に適している。

- 2 (1)東北地方 (2)北海道、東北地方 (3)①キ、筑紫平野 ②ア、石狩平野 ③カ、高知平野 ④イ、越後平野 ⑤ウ、利根川の下流

地帯

解説 (1)東北地方で米の約4分の1が生産されている。稲作がさかんな地域は、秋田平野、仙台平野^{せんたい}、庄内平野などである。(2)寒流の千島海流^{ちしまかいりゅう}による冷たい風(やませ)や濃霧のえいきょうを受けやすい。(3)①九州地方では、米と麦の二毛作(同じ土地で1年に2種類の作物をつくること)が行われてきた。しかし、機械化が進むと耕地整理が行われ、現在では多くのクレークがうめ立てられている。②稲作がさかんな地いきは、石狩平野^{いしかわぼんち}、上川盆地^{かみかわぼんち}などである。③四国地方では、米の二期作(同じ土地で1年に同じ作物を2回作ること)が行われてきたが、費用や手間がかかるわりに収穫^{しゅうかく}が少ないので、今では野菜の生産などにうつるようになった。⑤ふつうより早い時期に収穫できる米を早場米という。

3 Aウ Bオ Cカ Dイ E工 Fア

解説 全国的に最も多く生産されているのがコシヒカリであり、全国の生産量の3分の1以上をしめている。また、西日本ではヒノヒカリの生産が多い。特ちょうのある品種としては、北海道のななつばし・きらら397、秋田県のあきたこまち、岩手県^{みやぎ}と宮城県^{みやぎ}のひとめぼれ、山形県のはえぬきなどがある。

3 わたしたちの食生活と水産業 8~10ページ

❖ 要点チェック

- ①沿岸漁業^{えんがん} ②遠洋漁業 ③養殖漁業^{ようしよく} ④焼津^{やいづ}
 ⑤釧路港^{くしろ} ⑥境 ⑦真珠^{しんじゆ} ⑧かき ⑨のり ⑩
 トレーサビリティ

練習問題

- 1 (1)ウ (2)潮目 (3)リアス海岸

解説 (1)深さが200mまでの浅い大陸だな

は、特に東シナ海を中心に広がっており、魚のえさとなるプランクトンが多いため、魚も多い。(2)潮目はプランクトンが多く、集まる魚の種類も多いので、よい漁場である。近海には寒流(千島海流・リマン海流)と暖流(日本海流・対馬海流)が流れている。

(3)日本には出入りのはげしいリアス海岸が多く、よい漁港がつくりやすい。東北地方の三陸海岸、三重県^{しづま}の志摩半島^{ふくい}、福井県^{わか}の若狭湾^{さわん}などが知られている。地しんや海底火山^{ぼくはつ}の爆発^{つなみ}によっておこる津波の害を受けやすい。

2 ①イ ②カ ③オ ④ア ⑤ウ

解説 (1)①はまきあみ、②は底引きあみ(トロールあみ)、③は定置あみ、④はいかつり漁、⑤はかつお一本づり。工は、砂浜^{すなはま}の沖合^{おきあい}にあみをはり陸に引き上げる、地引きあみ。他にも次のような漁法がある。えさをつけたなわを横にはって魚をとる、まぐろはえなわ漁。あみを海底にはり、魚やえび・かになどをとる、底さしあみ。あかりで魚をあみの上へ集めすくい上げる、ぼうう^{ぼうう}棒受けあみ。

3 ①イ ②オ ③キ ④ウ

解説 この他にも、根室港^{ねむろ}、石巻港^{いしのまき}、焼津港^{やいづ}、松浦港^{ながさき}、長崎港^{まくらざき}、枕崎港^{ぎよかく}なども漁獲量の多い漁場である。

4 Aイ Bウ C工 Dア

解説 A遠洋漁業にかわって沖合漁業が大きくのびたが、近海の魚をとりすぎたことなどから、1990年代以降は漁獲量が減ってしまった。Bの遠洋漁業は、1977年ごろから各国が200カイリ経済水域^{けいぎすい}を設定し、外国の船がとる魚の量を制限するようになったこと、石油危機^{せうき}で船の燃料代が上がったことなどから、1970年代をさかいに遠洋漁業の漁獲量は大きく減った。Cの沿岸漁業で働く